

令和 2年10月12日

各位

九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門
農業生物科学講座 農業生産生態学分野
教授候補者選考委員会
委員長 熊丸 敏博

九州大学 大学院農学研究院 資源生物科学部門
農業生物科学講座 農業生産生態学分野
教授候補者の推薦について（依頼）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本選考委員会は下記のとおり大学院農学研究院・資源生物科学部門・農業生物科学講座・農業生産生態学分野教授候補者を公募することになりました。つきましては、適任者をご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職・人数

教授・1名

2. 所属・専門分野

今回採用する教授は、大学院農学研究院・資源生物科学部門・農業生物科学講座に所属し、大学院生物資源環境科学府・資源生物科学専攻・農業生物科学教育コース、および農学部・附属農場を担当する教員となります。農業生物科学講座は、植物育種学分野、作物学分野、植物生産生理学分野、植物病理学分野、園芸学分野、動物学分野、昆虫ゲノム科学分野、昆虫学分野、天敵微生物学分野、天敵昆虫学分野、生物保護管理学分野、農業生産生態学分野、昆虫産業創生学分野、衛生昆虫学分野の14研究分野からなります。

当該講座は資源生物科学部門の中で、農作物を中心とした農業生物資源の安定供給、革新的生産技術、保護管理、有効利用、および持続的圃場管理等に必要な植物、動物、昆虫、微生物、生物環境等に関する研究を担当し、高生産性・高品質な農作物の開発、

分子育種、植物防疫、天敵・病害虫管理、昆虫工場、並びに農業生態系の維持に関する先端的知識と技術の確立を目指して教育研究を推進しています。

当該講座の目的を実現するためには、農業生物資源の持続的安定供給法の確立や生物資源の保護管理が重要であります。特に、農業生産生態学分野では、農学部附属農場の圃場・施設において作物とそれを取り巻く環境要因の関係を解明し、農業生産における生物機能の有効利用を図るとともに、環境と調和した持続的農業生産を実現するための教育研究が不可欠です。そのなかでも

- 1) 作物生産における環境と遺伝子の交互作用に関する教育研究
- 2) 作物の機能性に関する教育研究
- 3) フィールドレベルにおける作物生産に関する教育研究

などの領域における先進的教育研究を推進しうる方を求めています。

加えて、伊都キャンパスにおける先進的研究農場の確立を推進する方を求めています。

3. 採用予定時期

令和3年4月1日

4. 応募資格

博士の学位を有するとともに、上記の領域 1)～3)において優れた業績と該博な知見を有し、学部および大学院担当教員として学生の教育や研究指導に熱意をもって取り組む方

5. 担当授業科目

(1) 大学院

修士課程：

(資源生物科学専攻農業生物科学教育コース)

作物資源生態学特論 (分担)、農業生物科学特別研究第一 (分担)、同第二 (分担)、農業生物科学プロジェクト演習、農業生物科学輪講 (分担)、農業生物科学演習第一 (分担)、同第二 (分担)、農業生物科学ティーチング演習、演示技法 I、同 II、国際演示技法、インターンシップ等

(国際コース)

特別演習 I (分担)、同 II (分担)、修士論文研究 I、同 II、農業生物学特論 (分担)、ティーチング演習、演示技法、インターンシップ等

博士後期課程：

(資源生物科学専攻農業生物科学教育コース)

農業生物科学特別実験 (分担)、農業生物科学特別講究、農業生物科学特別演習、
ティーチング演習、演示技法 I、同 II、国際演示技法、インターンシップ、プロジ
ェクト演習等

(国際コース)

農業生物科学特別実験 (分担)、農業生物科学特別講究、農業生物科学特別演習、
ティーチング演習、国際演示技法、インターンシップ、プロジェクト演習等

(2) 学部

(生物資源生産科学コース・農学分野、同・生物生産環境工学分野、同・生物生産シ
ステム工学分野、同・農政経済学分野、動物生産科学コース・アニマルサイエンス分
野)

農場実習 (分担)、農場実習 I (分担)、農場実習 II (分担)、農場実習 III (分担)、
農場実習 IV (分担)、農場実習 V (分担) 等

(国際コース)

Fieldwork on Bioresource and Bioenvironment 1 (分担)

(担当可能な基幹教育科目)

体験的農業生産学入門 (分担) 等

なお、英語による授業及び研究指導も担当していただきます。

6. 提出書類

(1) 略歴書

(2) 業績目録 (新しい順に記載)

I 原著論文：著者名 (本人の氏名に下線を、また責任著者に*を記すこと)、題名、
掲載雑誌名、巻、頁、発行年 (i) 査読付き雑誌、(ii) 査読なし雑誌、(iii) 国際学
会プロシーディングス、(iv) その他 で区分すること

II 著書：著者名、題名、発行所、発行年

III 総説・解説等：著者名、題名、掲載雑誌名、巻、頁、発行年

IV 特許・品種登録等

V 学会等での受賞

VI 国際学会等招待講演

VII 外部資金・競争的資金の導入実績：名称、研究課題名、期間、金額、代表・分担

の別

VIII 教育実績

IX 社会貢献等の実績

X その他：資格等

- (3) これまでの研究の概要と今後の研究に対する抱負（1,500字以内）
- (4) これまでの教育の概要と今後の教育に対する抱負（1,500字以内）
教育実績のない場合、今後の教育に対する抱負
- (5) 上記(1)～(4)の書類、これらの Word ファイルおよび PDF ファイルを保存した CD-ROM
または USB メモリー
- (6) 主要論文の別刷り又はその写しとそれらの PDF ファイル（5編）
- (7) 推薦書
自薦の場合：自薦書および応募者の教育・研究などについて問い合わせのできる方
2名の氏名および連絡先
他薦の場合：推薦書（1通）
- (8) 選考後応募書類はお返ししません。
書類の(1)と(2)は下記 URL の様式により作成願います。

<https://archive.iii.kyushu-u.ac.jp/public/pjm4gAcJRwFAgUQBDrZ0iJ7sxydiDdPBZLF5EDTcDiA4>

7. 面接等

審査の過程で面接を行う場合があります。その際の旅費・滞在費は応募者の自己負担と致します。

8. 労働条件等について

- (1) 業務内容
九州大学大学院農学研究院における教育・研究
- (2) 雇用期間
期間の定めなし
- (3) 試用期間
試用期間あり（3か月）
- (4) 就業時間、休憩時間、時間外労働
専門業務型裁量労働制により7時間45分働いたものとみなされます。
- (5) 就業場所
九州大学農学部附属農場（福岡市西区元岡744）
- (6) 休日

土、日、祝日、12/29～1/3

(7) 賃金

年俸制（教育職基本年俸）

なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規程により決定します。

(8) 加入保険

雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

9. 提出締切

令和2年11月25日（水）正午まで 必着

10. 提出書類の送付先

〒819-0395

福岡市西区元岡 744（アグリバイオ研究施設 212 号室）

九州大学大学院農学研究院生命機能科学部門・システム生物学講座・植物遺伝子
資源学分野内

農業生産生態学分野教授候補者選考委員会

委員長 熊丸 敏博

電話：092-802-4842 E-mail: kumamaru@agr.kyushu-u.ac.jp

書類は書留またはそれに準ずる方法で提出のこと

11. その他

- (1) 九州大学では、男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）の精神に則り、教員の選考を行います。
- (2) 九州大学では、「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- (3) 本研究院、学府、学部等の教育研究概要等は、ホームページ（<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp>）を参照してください。
- (4) 送付された資料は選考以外の目的には使用しません。
- (5) 労働条件等についての規程および問い合わせ先：
国立大学法人九州大学職員給与規程：
（<https://www.kyushu-u.ac.jp/f/491/2004syuki014.pdf>）
国立大学法人九州大学年俸制給与（教育職基本年俸）の適用に関する細則

(<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/information/rule/rulebook/pdf/2707/1/2019syuki042.pdf>)

問い合わせ先：九州大学農学部庶務係

(E-mail : nossyomu2@jimu.kyushu-u.ac.jp 電話：092-802-4505)

- (6) 九州大学農学部附属農場は令和2年度後期に伊都キャンパスへ移転し、令和3年4月より伊都キャンパスで教育研究を開始する予定です。